

間もなく令和5年度が終わります。暖かくなり桜の開花予想も耳にするようになってきました。全校生徒、教職員が一丸となり様々な活動に全力で取り組んだ一年でしたが、保護者や地域の皆様のご理解とご協力のお陰で、無事に終えることができました。改めまして感謝申し上げます。重ねて来年度も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

卒業式 輝かしい未来へ～94名の卒業生母校を巣立つ

3月8日(金)、第77回卒業証書授与式を挙行了しました。コロナやインフルエンザの影響は無く、来賓、保護者の皆様をお迎えし、在校生も参加しての卒業式となりました。本年度は卒業生が誰一人欠席せず、全員ステージ上で堂々と卒業証書を受け取りました。在校生代表の送辞、卒業生代表の答辞はともに強い気持ちがかもっており、全校生徒の良好で温かい人間関係を強く感じることができました。答辞の後に卒業生が「群青」を歌い、保護者の方をはじめ、今までお世話になった方々へ感謝の気持ちを伝え、大変感動的な卒業式となりました。

これからは、藤山中卒業生としての誇りを胸に、新たな場所で大活躍してくれることを期待します。

1・2年生クラスマッチ(学年最後の思い出づくり)

3月11日・12日は1・2年生がそれぞれクラスマッチを行いました。同じクラスで1年間活動してきたメンバーでの最後の行事でした。1年生は体育館で、「いす取りゲーム」、「だるまさんが転んだ」、「長縄」、「じゃんけん大会」などを楽しんだ後、ドッチボールとドッチビーで汗を流しました。2年生は、まずグラウンドで全員リレーを行い、バレーボール、サッカー、ドッチボールの各種目に取り組みました。クラス全員が笑顔でお互いの活動を応援し合っていました。友人との楽しい活動を来年度も継続させてほしいと思います。

藤山中図書館情報(4月)

藤山中学校図書館 一般開放日 令和6年 4月

曜日	開館日(12:30~16:30 開館)
月	15 22
火	16 23 30
水	
木	11 18
金	12 19



司書今月のおすすめbook

八月の御所グラウンド

万城目学 著 9137

第170回直木賞受賞作。京都を舞台にした青春スポーツストーリー2編。「十二月の都大路上下ル」実際にもある女子全国高校駅伝の話。主人公は絶望的に方向音痴な高校一年生。応援要員として来たのに、突然ピンチランナーで出場することに。雪の舞う京都を走る彼女が見たものは…。表題作「八月の御所グラウンド」は、ひょんなことで「たまひで杯」という名前の草野球大会に出場することになった男子大学生が主人公。試合が進むうち、ある不思議な事実気が付きます。なぜか「揃う」とは？まさかあの投手は伝説のあの人？京都が生んだ優しい奇跡の2編です。やはり京都は奥深い。この本でちょっと不思議な京都を楽しんでください。